

<様式1> 管理運営状況評価書

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

【対象年度:平成28年度】

(⑤その他の施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		22世紀の丘公園			担当課名	維持管理課
区分		内容・説明				
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市都市公園条例及び掛川市都市公園条例施行規則				
	(2)施設設置目的	「ゆっくり、じっくり、森づくり、みんなが集まる手作りの公園」を基本理念とし、将来に永く残せる、掛川らしい里山・里地の四季の景観づくりを目指している。				
	(3)施設が有する設備、機能の概要	公園面積20.8ha(開園面積8.7ha) 研修棟1棟 芝生広場 多目的広場 大型遊具 小型遊具 炭焼き施設 調整池 修景池 コミュニティ施設(たまりーな) 大研修室(264.35㎡) 多目的室(108.38㎡) 研修室1・2(75㎡) 研修室3(56.25㎡) 和室研修室(77.07㎡) 工作室(73.87㎡) ボランティア室(37.12㎡) 図書ラウンジ 休憩コーナー プール(20m×10m) 温浴施設(男女)				
	(4)施設建設年度	平成19年度				
	(5)耐震性能の有無	あり				
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)	非常用発電機修繕 18万円 (H29年度)				監視カメラ設備修繕 37万円 (H32年度)
		熱源改修工事 8,060万円 (H30~34年度)5か年かけて更新				正面玄関自動ドア修繕 30万円 (H30年度)
		ビル用マルチエアコン圧縮機取替 50万円 (H31年度)				公園用給水加圧ポンプ修繕 30万円 (H30年度)
		社会福祉協議会会議室漏水に伴う止水工事 28万円 (H30年度)				建物用給水加圧ポンプ修繕 24万円 (H31年度)
		給水加圧ポンプインバーター取替 38万円 (H32年度)				
	(7)指定管理者名	ビル保善グループ 代表 静岡ビル保善株式会社				
	(8)指定期間	平成25年 4月 1日 から 平成30年 3月31日 まで				
	(9)債務負担行為設定の有無	<input type="checkbox"/> 設定あり <input type="checkbox"/> 設定なし ※設定ありの場合、(期間 平成 年度~平成 年度) (限度額 千円)				
	(10)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営				
(11)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
(12)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
(13)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし					
(14)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 28 年度)					
区分		H26実績	H27実績	H28実績	H29当初	備考
(1)施設利用者数	(目標値)	-	140,000	160,000		※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
	(実績値)	104,780	181,271	176,866		
内訳 (施設・設備ごと)	研修室	69,998	64,744	66,565		
	プール・浴室	24,265	23,838	24,514		
	グラウンドゴルフ	4,280	4,781	5,287		
	その他(遠足等)	6,237	6,662	6,032		
	遊びの里・芝生広場		81,246	74,468		
(2)稼働率(利用率)	↓備考欄に算定式を記入してください↓					
2 利用状況 (施設・設備ごと)	研修室合計 (定員 人)	A平日昼間		66.0%	65.5%	A 12ヶ月平日昼間の稼働件数合計/(14*12ヶ月稼働日数) B 12ヶ月平日夜間の稼働件数合計/(7*12ヶ月稼働日数) C 12ヶ月休日昼間の稼働件数合計/(14*12ヶ月稼働日数) D 12ヶ月休日夜間の稼働件数合計/(7*12ヶ月稼働日数) 研修室が7部屋あり日中はAM・PMとあるので(7*2=14) 夜間は時間帯が1パターンなので7
		B平日夜間		19.8%	35.2%	
		C土日祝昼間		46.6%	27.4%	
		D土日祝夜間		11.8%	14.8%	
	大研修室 (定員 人)	A平日昼間		70.7%	67.5%	A 12ヶ月平日昼間の稼働件数合計/(2*12ヶ月稼働日数) B 12ヶ月平日夜間の稼働件数合計/12ヶ月稼働日数 C 12ヶ月休日昼間の稼働件数合計/(2*12ヶ月稼働日数) D 12ヶ月休日夜間の稼働件数合計/12ヶ月稼働日数 平日研修室はAM・PMとあるので稼働日数に*2をする
		B平日夜間		21.0%	20.1%	
		C土日祝昼間		50.9%	49.5%	
		D土日祝夜間		8.3%	14.8%	

2 利用状況	(施設・設備ごと)	研修室1 (定員 人)	A平日昼間		65.6%	71.1%	
			B平日夜間		8.2%	16.5%	
			C土日祝昼間		45.3%	52.3%	
			D土日祝夜間		7.3%	9.3%	
		研修室2 (定員 人)	A平日昼間		72.1%	69.6%	
			B平日夜間		10.8%	8.2%	
			C土日祝昼間		46.8%	51.9%	
			D土日祝夜間		2.8%	4.6%	
		研修室3 (定員 人)	A平日昼間		76.8%	75.0%	
			B平日夜間		18.1%	18.6%	
			C土日祝昼間		55.1%	56.5%	
			D土日祝夜間		8.3%	17.6%	
		多目的室 (定員 人)	A平日昼間		75.4%	76.8%	
			B平日夜間		68.7%	61.3%	
			C土日祝昼間		50.5%	58.3%	
			D土日祝夜間		44.3%	53.7%	
和室研修室 (定員 人)	A平日昼間		60.9%	60.6%			
	B平日夜間		10.9%	9.8%			
	C土日祝昼間		46.3%	44.9%			
	D土日祝夜間		11.9%	3.7%			
工作室 (定員 人)	A平日昼間		40.3%	38.1%			
	B平日夜間		2.7%	1.5%			
	C土日祝昼間		29.9%	31.0%			
	D土日祝夜間		0.0%	0.0%			
区分			H26実績	H27実績	H28実績	H29当初	備考
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費		407	241	247		
	(3)運営日数		301	303	302		
	(4)運営人員	①正規職員	3.0	4.0	4.0		※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
②臨時職員		15.0	16.0	16.0			

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	35,959,910	37,182,727	37,737,381		
	②印刷費	51,840	0	0		
	③通信費	470,593	445,622	469,191		
	④事務用品、旅費、図書費など	238,548	244,209	406,440		
	⑤借上料	348,120	348,120	337,320		
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	3,333,870	3,468,690	3,615,350		
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	2,248,326	1,927,310	1,142,445		
	計	42,651,207	43,616,678	43,708,127	0	
	対前年度増減率		2.3	0.2		
区分		H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	7,624,368	7,624,368	7,624,368	0	
	植栽管理	7,452,000	7,452,000	7,452,000		
	機械警備	172,368	172,368	172,368		
	②修繕費	564,517	1,003,242	1,162,728		
	③光熱水費	16,636,092	15,374,565	13,658,139		
	④燃料費	86,788	66,505	103,638		
⑤清掃費	0	0	0			
⑥保守点検費	4,709,680	4,596,052	4,180,250			
⑦その他(施設消耗品)	1,118,605	1,109,847	1,061,941			
計	30,740,050	29,774,579	27,791,064	0		
対前年度増減率		△ 3.1	△ 6.7			
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)	73,391,257	73,391,257	71,499,191	0		
(4)合計のうち運営コストの割合	58.1	59.4	61.1			
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	11,441,950	11,100,170	10,469,340			
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	26.8	25.4	24.0			

III 収支差額の状況 **注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】**

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H26決算額	H27決算額	H28決算額	備考
a) 施設使用料収入	11,441,950	11,100,170	10,469,340	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	71,763,000	74,116,000	74,397,000	
収支差額 a) - b)	△ 60,321,050	△ 63,015,830	△ 63,927,660	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H26決算額	H27決算額	H28決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a-トータルコスト)				
c) b)に対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	H26決算額	H27決算額	H28決算額	備考
a) 自主事業の収入	6,034,032	6,450,036	6,453,088	スポーツ、農業体験、英会話、絵画造形教室等
b) 自主事業の支出	5,261,897	5,935,783	5,824,230	
収支差額 a) - b)	772,135	514,253	628,858	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c) - d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	90	75.5	2	【達成できていない点・主な課題】 ・アンケート調査では、具体的な要求や意見の洗い出しが不十分である。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・次年度、具体的な要求を調査し、対策に反映していく。
B サービス内容の満足度	90	68.6	1	【達成できていない点・主な課題】 ・概ね良好なサービス提供がなされているが、細やかな点で改善を要する。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・次年度、要求水準の適正化を検討するとともに指定管理者とさらなる対応策を検討していく。
C 従業員対応の満足度	90	62.7	1	【達成できていない点・主な課題】 ・あいさつや声かけの徹底が見られるが、細やかな点で改善を要する。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・次年度、要求水準の適正化を検討するとともに指定管理者とさらなる対応策を検討していく。
D 施設安全対策の満足度	90	68.6	1	【達成できていない点・主な課題】 ・注意看板の設置や声かけをしているが、細やかな点で改善を要する。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・次年度、要求水準の適正化を検討するとともに指定管理者とさらなる対応策を検討していく。
E 美観・清潔感の満足度	90	69.6	1	【達成できていない点・主な課題】 ・仕様書のとおり対応が見られるが、細やかな点で改善を要する。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・次年度、要求水準の適正化を検討するとともに指定管理者とさらなる対応策を検討していく。
F 施設の利用者数	160,000	177,434	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

(3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	0	【達成できていない点・主な課題】 ・社会福祉協議会との調整 【いつまでに、どのように対応するか】 ・貸会議室において自主事業利用など有効活用を検討する。
2	前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	前年度と同等の収支差額になっている。		
0	前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	【達成できていない点・主な課題】 ・施設管理費の縮減 【いつまでに、どのように対応するか】 ・維持管理費の縮減が見込める事業への転換を検討。(プールから室内遊園地など)
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	【達成できていない点・主な課題】 ・ 【いつまでに、どのように対応するか】 ・
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

20

/ 33

V その他自由意見

--